

# 議会だより

2020年4月発行

梶原正憲

☎ 44-4719

☎ 090-5389-9936



ダマスクの風(小薄町)



新型コロナウイルス感染防止 酸性電解水配布

新年度を迎え、桜や草花が元気に芽吹き、すがすがしい季節となりました。皆様にはご健勝でお暮らしのこととお慶び申し上げます。

新型コロナウイルスの感染者・死亡者が多く発生し、パンデミック(世界的大流行)と認められ、国内外の社会・経済も深刻な事態に陥る懸念が強まっており、政府においても早期に終息させるために徹底した対策を講じる必要から特別措置法の改正及び補正予算も検討されております。

さらに、IOCは東京オリンピック(来年7月23日から17日間)・パラリンピック(来年8月24日から13日間)の延期を決定しました。

本市においても感染症対策として、相談窓口・対策会議を設置するとともに情報の共有化を図り、マスク・消毒液の配布や学校の臨時休校とイベントの中止・延期が行われるなど予防対策が取られております。

新型コロナウイルスの感染拡大は飛沫・接触感染が考えられることから各人でも手洗い・マスク着用や消毒の励行と①換気の悪い密閉空間 ②多数が集まる密集場所 ③間近で会話・発声する密接場面を避けるなど対策を講じてください。

さて、鹿屋市議会3月定例会は、2月19日から3月19日までの30日間開催されました。

中西市長は、令和2年度の施政方針で市政運営に当たっては、「ぬくもりと豊かさを実感する明るい未来づくり」の実現に向け総合計画に掲げた基本目標であるまちづくりを着実に推進しながら

- 特に、(1) Uターンの促進、産業の振興 (2) 関係、交流人口の増加促進  
(3) スポーツによる地域活性化 (4) 持続可能なまちづくりの推進 の

施策を重点的に取り組んでいくと力強く表明しました。

今議会に上程された議案は「鹿屋市一般会計当初予算(534億円)」「鹿屋市子育て交流プラザ条例・鹿屋市中小企業等振興条例の制定」など議案40件、報告3件(事故の和解)、諮問2件(人権擁護委員)、陳情1件(分煙環境整備)が上程され慎重審議しました。

一般質問には、代表(4会派)・個人(4人)が登壇し、多岐にわたり当局の見解を質しました。

私共、政経・未来(別府込・伊野・原田・田辺・岩松・吉岡・梶原議員)は、①農業政策 ②観光行政 ③公共交通体制 ④農業研修センター ⑤教育行政について、代表して原田議員が質問を行いました。

# 令和元年度鹿屋市一般会計補正予算(第5号)

国の補正予算に対応した事業のほか、各種基金への積立て、事業費の確定に減額などを中心に編成されています。

## 1、主な事務事業

	事業費	789,569千円
(1) 小学校GGIGAスクール環境整備事業	500,448千円	
(2) 中学校GGIGAスクール環境整備事業	260,121千円	
(3) 橋梁補修事業	22,000千円	
(4) 県営急傾斜地崩壊対策事業	7,000千円	

## 2、事業進捗上、予算計上が必要な事業

	事業費	62,518千円
(1) ふるさとPR促進事業	56,258千円	
(2) 林業・木材産業構造改革事業	6,260千円	

## 3、基金積立及び事業費の各手に伴う減額など

	事業費	△1,424,897千円
(1) 各種基金の積み立てに要する経費	398,676千円	
(2) 事業費各手に伴う減額など	△2,107,158千円	



予算委員会審議風景

# 令和2年度 鹿屋市一般会計当初予算(534億円)の概要

令和2年度の当初予算は、中長期的に持続可能な行財政運営に努めていくことを念頭に置き、第2次鹿屋市総合計画に掲げるまちづくりの将来像【ひとが元気! まちが元気! 未来につながる健康都市かのや】の実現に向けた取り組みを着実に推進する予算として編成されております。

## 基本目標1. やってみたい仕事ができるまち・・・予算額 38億3,015万9千円 (農林水産業の振興や商工業の活性化、雇用の促進)

- ・日本一和牛ブランド確立事業 (拡充) 6億1,608万7千円  
(4畜産経営体の施設等整備と繁殖・肥育農家の生産基盤の維持・拡大に支援強化など)
- ・企業誘致サポート事業 (拡充) 5億6,781万2千円  
(立地協定締結企業の設備投資への支援、サクラクレパス鹿児島工場用地の造成など)
- ・がんばる畑作応援事業 (拡充) 6,577万7千円  
(さつまいも基腐病対策支援、集出荷貯蔵施設・ヒートポンプ、循環扇の整備など)
- ・人材確保・担い手育成事業 (拡充) 5,730万6千円  
(就職支援サイトの構築、合同企業面談会、農業・畜産担い手への支援など)



サクラクレパス鹿児島工場用地の造成

## 基本目標2. いつでも訪れやすいまち・・・予算額 16億5,001万3千円 (地域資源を生かした観光振興、スポーツによる交流促進の移住・定住の推進)

- ・かごしま国体・かごしま大会開催事業 (新規) 4億771万1千円  
(ボート、バレーボール、自転車ロードレース、スポーツウエルネス吹き矢の円滑な運営と花いっぱい運動などの市民参加の取組み推進など)
- ・スポーツ施設整備事業 (拡充) 1億4,108万1千円  
(串良平和公園陸上競技場、鹿屋運動公園野球場・陸上競技場の改修など)
- ・大隅広域観光推進事業 (拡充) 3,501万7千円  
(高速船を活用した観光ツアー、おもてなしイベントなど)



串良陸上競技場の改修

## 基本目標3. 子育てしやすいまち・・・予算額 35億8,241万6千円 (子どもを産み育てやすい環境づくり、未来を担う心豊かな人づくりの教育の充実)

- ・北部学校給食センター施設整備事業 (新規) 5億5,410万8千円  
(令和3年9月供用開始に向け、4,000食規模の給食センター建設など)
- ・学校環境整備事業 (継続) 9億2,157万7千円  
(寿北小・笠野原小学校空調設備工事、鹿屋東中学校校舎増設・空調設備工事など)
- ・鹿屋女子高活性化事業 (継続) 5億4,455万1千円  
(総合選択制の本格導入やICT教育環境の充実、3号棟やグラウンドの改修など)
- ・保育所等施設整備事業 (継続) 2億4,583万9千円  
(保育所の施設整備への助成)



鹿屋東中学校校舎増設

**基本目標4. 未来につながる住みよいまち・・・予算額 28億2,115万8千円**  
**(快適な住環境の整備、防犯・交通安全など安心して暮らせる地域、自然環境)**

- ・道路・排水整備事業（拡充） 6億7,315万8千円  
 (主要幹線道路などの整備事業)
- ・防災・減災対策事業（継続） 1億3,955万円  
 (流出抑制施設の整備、準用河川等の寄州除去・除草伐採など)
- ・防犯・交通安全推進事業（拡充） 3,083万6千円  
 (町内会防犯灯の1、231灯LED化、上小原小・下名小学校のグリーンベルト設置大黒小他3校横断歩道カラー化など)

**基本目標5. ともに支え合い、いきいきと暮らせるまち・・・予算額13億2,124万8千円**  
**(地域福祉の充実や健康・生きがいをづくり、  
 地域コミュニティ活動の推進)**

- ・地域包括ケア推進事業（拡充） 1億6,630万4千円  
 (地域包括支援センターの体制強化、地域支え合い活動の充実など)
- ・地域コミュニティ活動推進事業（拡充） 2,414万円  
 (串良・細山田校区コミュニティ協議会設立予定、輝北地域の防災講演会など)
- ・健康寿命延伸事業（拡充） 1,378万円  
 (AIを活用した特定検診、サロン体験教室の実施、30代無料健康診査の実施など)



サロン体験教室

**令和2年度 鹿屋市水道事業会計当初予算の概要**

鹿屋市水道事業ビジョンの基本目標である「持続」「安全」「強靱」に基づいた事業を推進する。

**1、重点施策**

- (1) 施設規模適正化計画策定事業 20,000千円  
 (中長期的な浄水施設規模の適正化計画の策定)
- (2) 鹿屋市水道事業包括業務委託 1,000千円  
 (経営効率化の観点から収納関連業務の包括的な民間委託)
- (3) 水道施設拡張事業 24,000千円  
 (新規水源の確保のために、生栗須地区と古江地区のボーリング調査)
- (4) 漏水調査 26,839千円  
 (有収率向上を図るために計画的な地区別漏水調査)
- (5) 管路整備事業 371,490千円  
 (老朽管対策・配水管対策)
- (6) 施設整備事業 111,200千円  
 (浄水施設・送排水施設などの年次的な更新とポンプなどの取替)



管路整備

**2、予算額**

・水道事業収益 1,802,406千円      ・水道事業費用 1,631,869千円

**令和2年度 鹿屋市下水道事業会計当初予算の概要**

鹿屋市下水道事業戦略を策定し、「生活環境の改善」「公共用衰期の水質保全」「浸水の防除」に基づく事業を推進する

**1、重点施策**

- (1) 汚水整備事業 188,760千円  
 (未整備地区の汚水管渠整備)
- (2) 雨水整備事業 38,940千円  
 (札元1丁目地区の道路冠水解消に向けて、雨水管渠の整備)
- (3) 包括的維持管理業務委託 121,440千円  
 (処理場の運営及び運転管理等適正な維持管理)



雨水整備（札元1丁目地区）

**2、予算額**

・下水道事業収益 995,079千円      ・下水道事業費用 967,549千円

# 政経・未来代表質問項目

## 1、農業政策について

- (1) 肝付中部畑地かんがい整備事業も進んでいる。これらの施設を活かし、日本有数の農業地帯をどのように発展させていくか。
- (2) 今後、生産基盤を確立させていくことが喫緊の課題と考えるが、生産者を総合的に支援、強化していく考えはないか。

## 2、観光行政について

- (1) 人口減少時代において、大隅地域における広域的な観光振興は関係・交流人口の増加を図る上でも重要な施策である。今後、具体的にどのように振興していくか。

## 3、公共交通体制について

- (1) 乗合タクシーの実証運行をへて、現在、本格運行を実施しているが、利用状況はどのようになっているか。
- (2) 今後さらに、公共交通の不便な地域の方や免許返納者を含む高齢者の方々の移動手段が危惧されるが、鹿屋市における今後の交通手段をどのように推進していくか。

## 4、鹿屋市農業研修センターについて

- (1) 鹿屋農業研修センターは、当初、農林業の振興など農業に係わる施設として設置されたが、現在、目的と異なる活用となっていると思われるが、現状をどのように考えているか。
- (2) 鹿屋市農業研修センターは、市街地に立地している。さらに、施設も老朽化しており、隣接する市営住宅も廃止する方向が示された。今後、その在り方を見直し、周辺一帯となった将来構想を考えるべきではないか。

## 5、教育行政について

- (1) 学習指導要綱が改定され、2020年度より小学校から順に実施されるが、以下について示されたい。
  - ① 本市の将来を担う子供たちをどのように育てていくか、その教育目標を示されたい。
  - ② 学習指導要綱の主な改定点と今後の進め方について示されたい。
  - ③ 教職員の指導力が問われるが、技術的なサポート体制をどのように図っていくか、また、社会総ぐるみで取り組んでいく必要があると思うがどうか。
- (3) 病気療養や不登校など学校で授業を受けられない児童・生徒のため、ICTを活用した自宅学習をサポートする体制づくりを図れないか。
- (4) スマートフォンなどで閲覧できる電子書籍の普及が進んでいるが、今後、読書教育をどのように進めていくか。

紙面の都合上、当局回答は掲載できませんので「ホームページ」や「議会だより」をご覧ください！

## 第三次鹿屋市議会改革特別委員会中間報告

### 議員定数26名(2名減)、常任委員会(4から3に)改編、政務活動費公開へ！

議会に関する諸課題について調査・検討を行い、議会の改革に資することを目的に、正副議長を除く全議員で構成し、平成30年10月1日に設置され、現在までに委員会を18回開催・議論して、今議会に中間報告がなされました。その主なものを報告します。

#### 目的

- |                        |                         |
|------------------------|-------------------------|
| ① 議員の定数及び常任委員会の改編に関する事 | ⑥ 市議会議員及び市長の同時選挙実施に関する事 |
| ② 議員報酬及び政務活動費に関する事     | ⑦ 鹿屋市議会申し合わせ事項に関する事     |
| ③ 議会・議員の情報公開の在り方に関する事  | ⑧ 議会及び議会事務局の体制整備に関する事   |
| ④ 議会のICTの活用と効率化に関する事   | ⑨ その他議会改革に関する事          |
| ⑤ 議会報告の在り方に関する事        |                         |

- ① 市長及び市議会議員の同時選挙の実施について90日特例は採用しない。
- ② 議員の定数及び常任委員会の改変について次回選挙より議員定数を26名とする。常任委員会は総務市民環境委員会(9名)、文教福祉委員会(8名)、産業建設委員会(9名)とする、決算委員会は特別委員会となります。
- ③ 政務活動費について令和元年度分から鹿屋市議会「ホームページ」で公開し、収支報告書は「かのや市議会だより」に掲載する。
- ④ ICT化について令和3年度にタブレット端末の導入に向けてICT化を推進する。

※今後も、鹿屋市議会改革特別委員会は毎月1回程度を原則に開催・論議していきます。皆様のご意見をお寄せください。

**人権擁護委員の推薦** ・南田 武法氏 (鹿屋市串良町細山田)・・・(新任)  
・川田代悦子氏 (鹿屋市曾田町)・・・(再任)

**適任** ご活躍を祈ります。